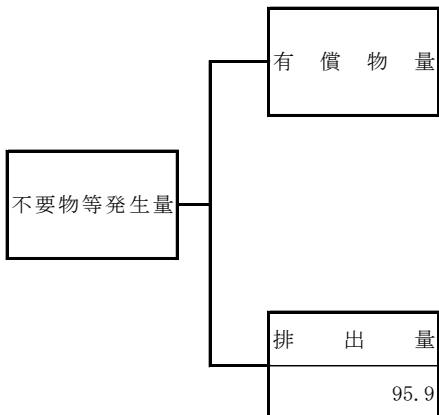


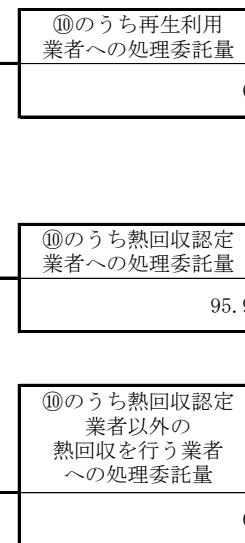
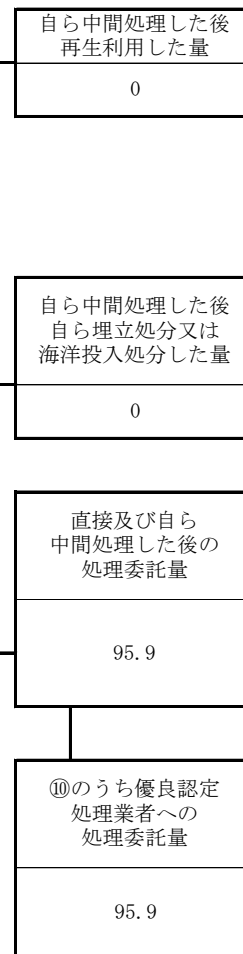
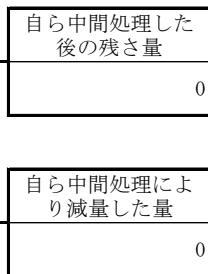
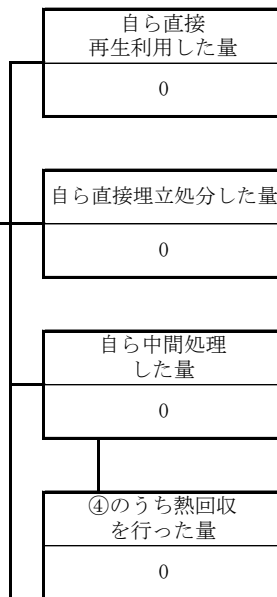
特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 3 年 6 月 30 日			
愛 知 県 知 事 殿			
提出者 住 所 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 名 称 日本製鉄株式会社 代表者 代表取締役社長 橋 本 英 二			
電話番号 052-603-7035			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和元年度の特別管理産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称		日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所	
事 業 場 の 所 在 地		愛知県東海市東海町五丁目3番地	
事 業 の 種 類		22 鉄鋼業	
特別管理産業廃棄物処理計画 に お け る 計 画 期 間		令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排 出 量		588 t	
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量		0 t	
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量		0 t	
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量		0 t	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 特別管理産業廃棄物の量		0 t	
全 処 理 委 託 量		588 t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		568 t	
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		280 t	
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量		70 t	
認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量		368 t	
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度 663 t 前 年 度 263 t	
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)については、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物(ポリ塩化ビフェニル 廃棄物を含む)ともに、全て電子マニフェスト運用継続中。			
※事務処理欄			

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：pH12.5以上の廃アルカリ)



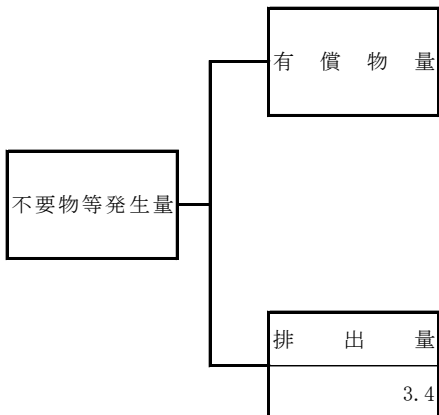
項目	実績値
①排出量	95.9
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	95.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	95.9
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	95.9
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



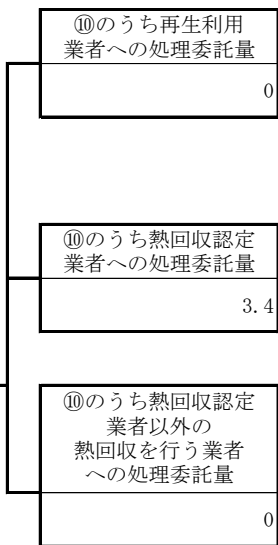
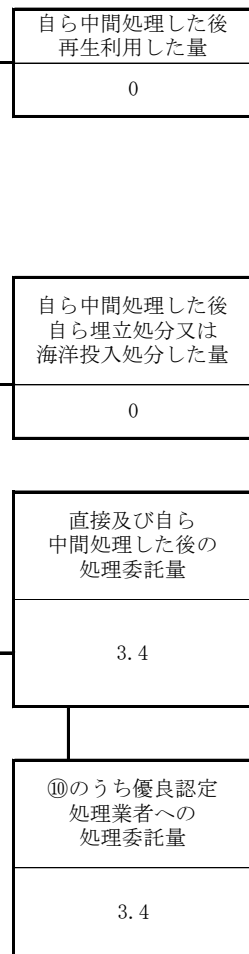
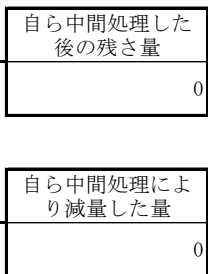
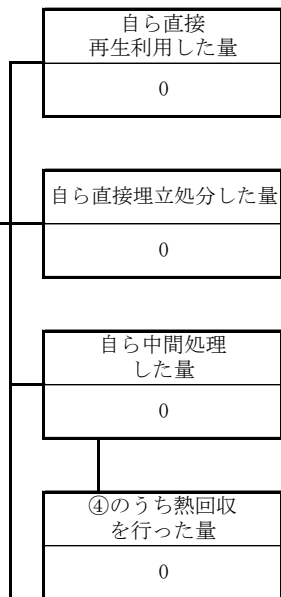
(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：pH2.0以下の廃酸)



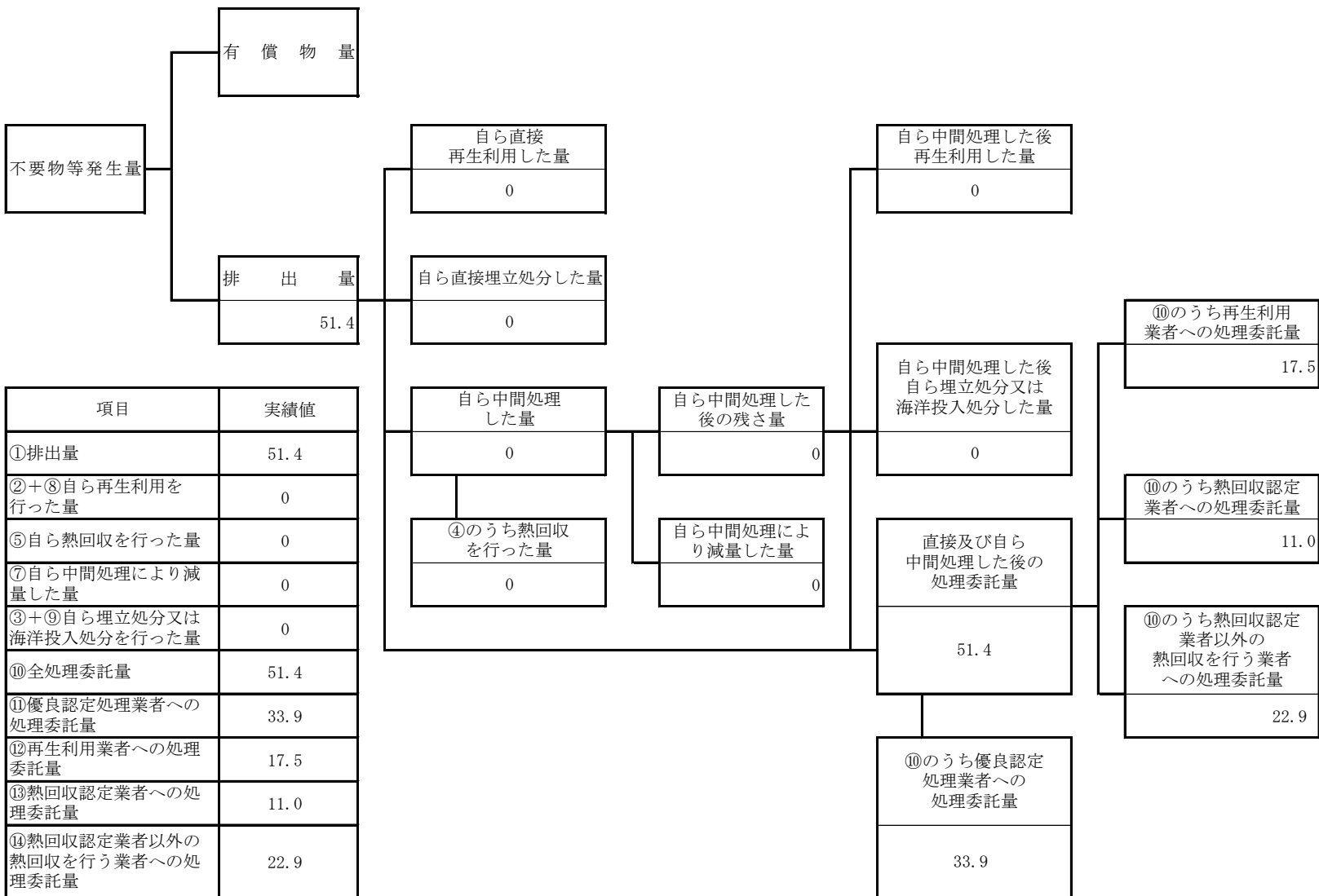
項目	実績値
①排出量	3.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.4
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3.4
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(第2面)

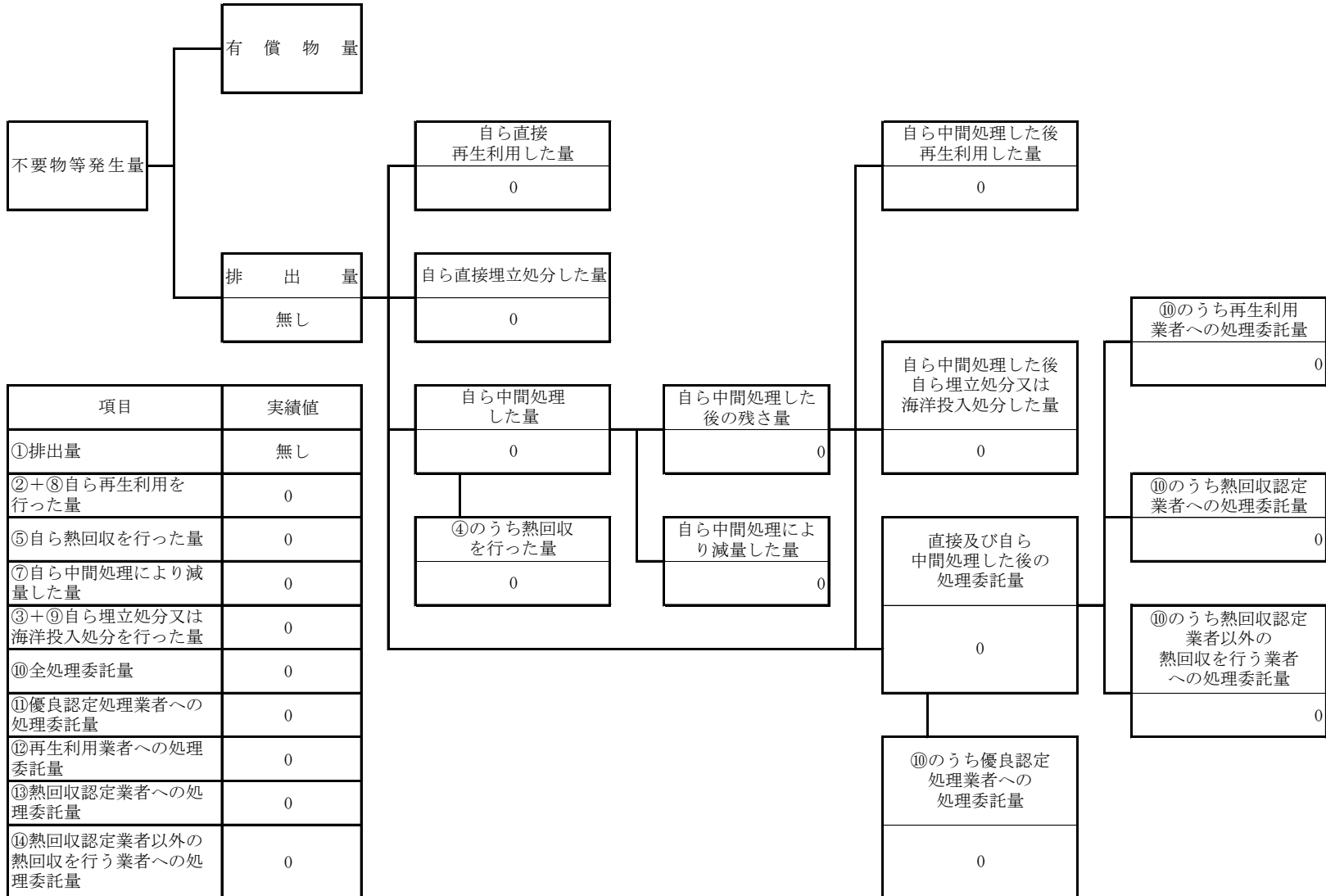
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：燃えやすい廃油)



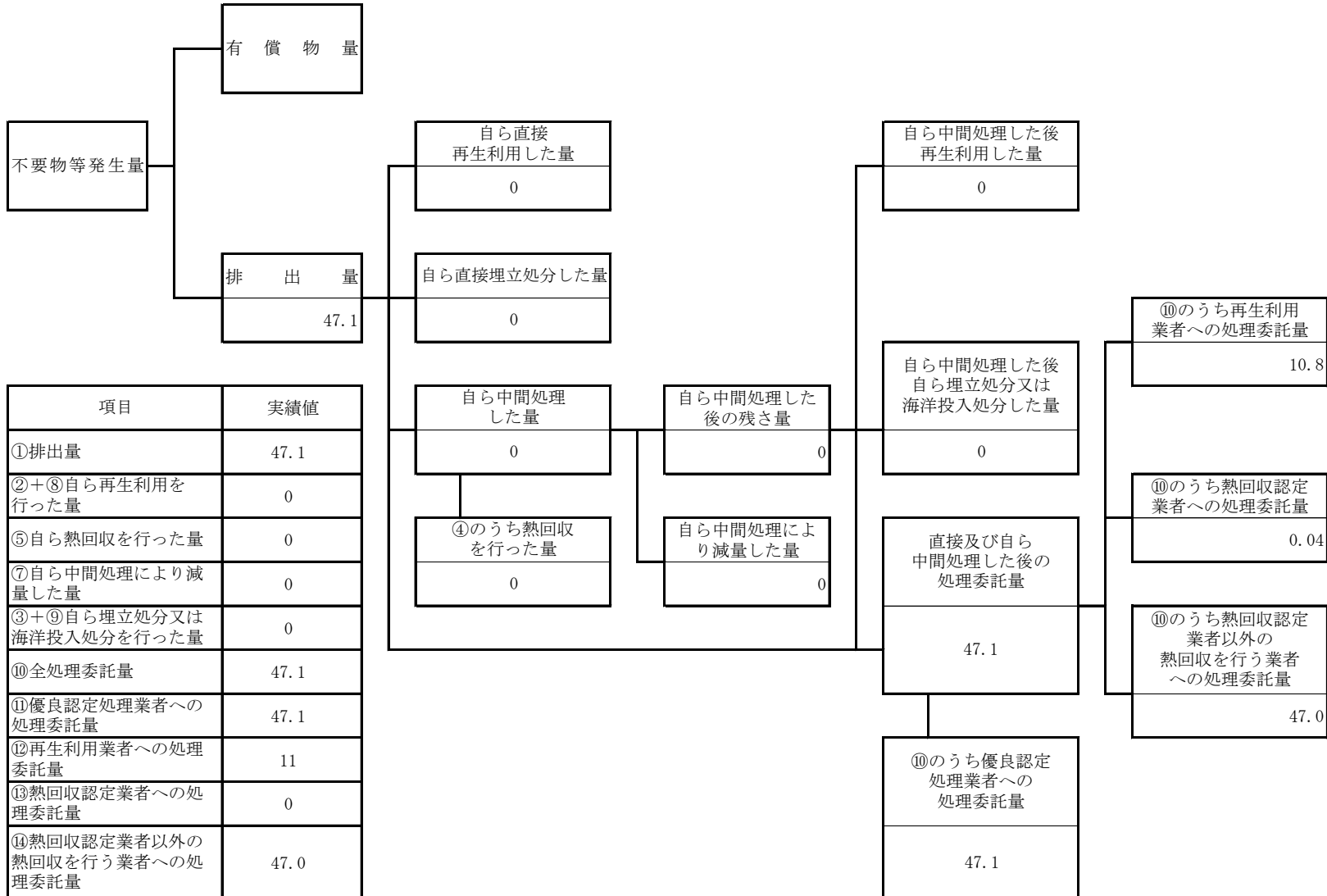
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：特定有害廃酸)



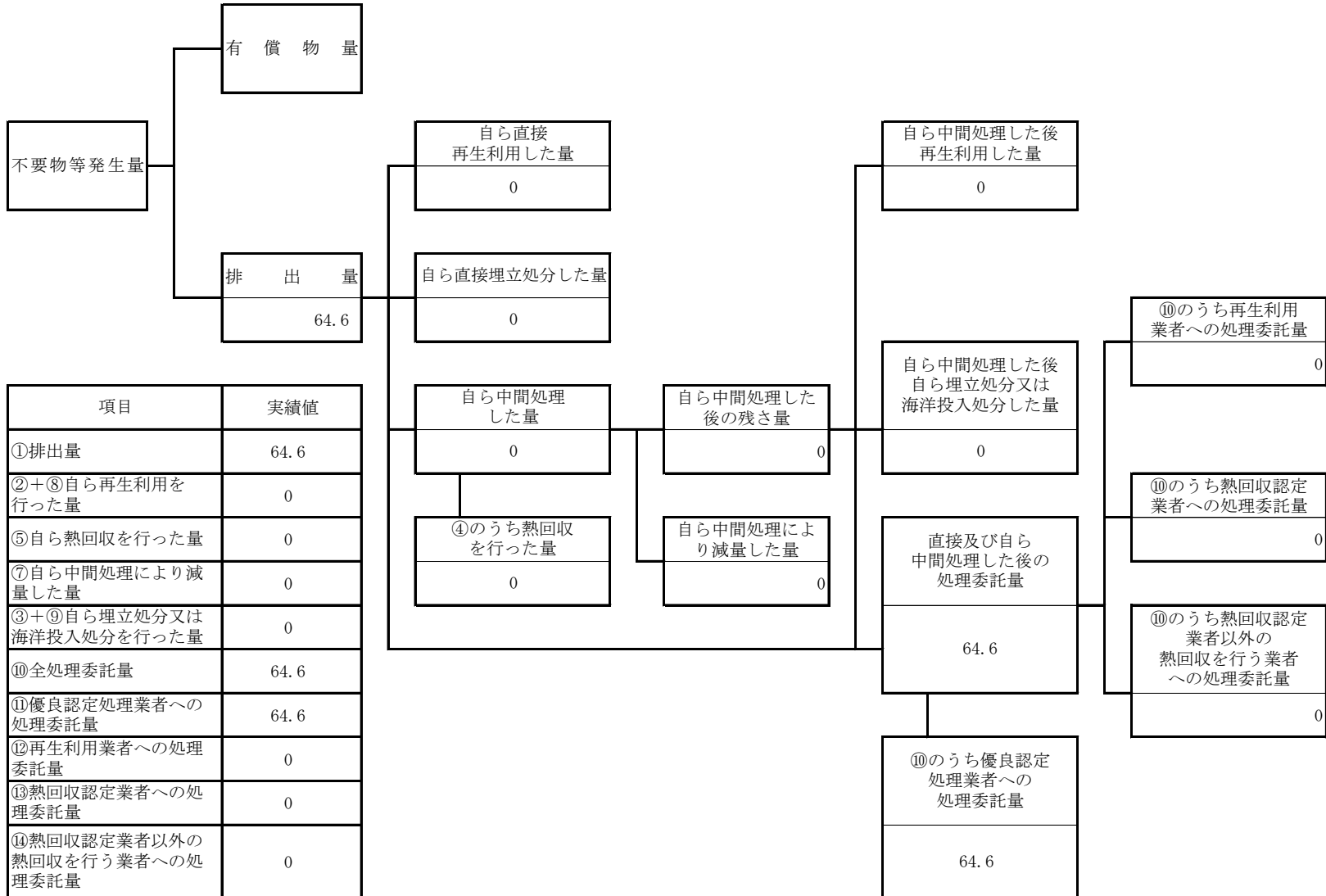
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：特定有害汚泥)



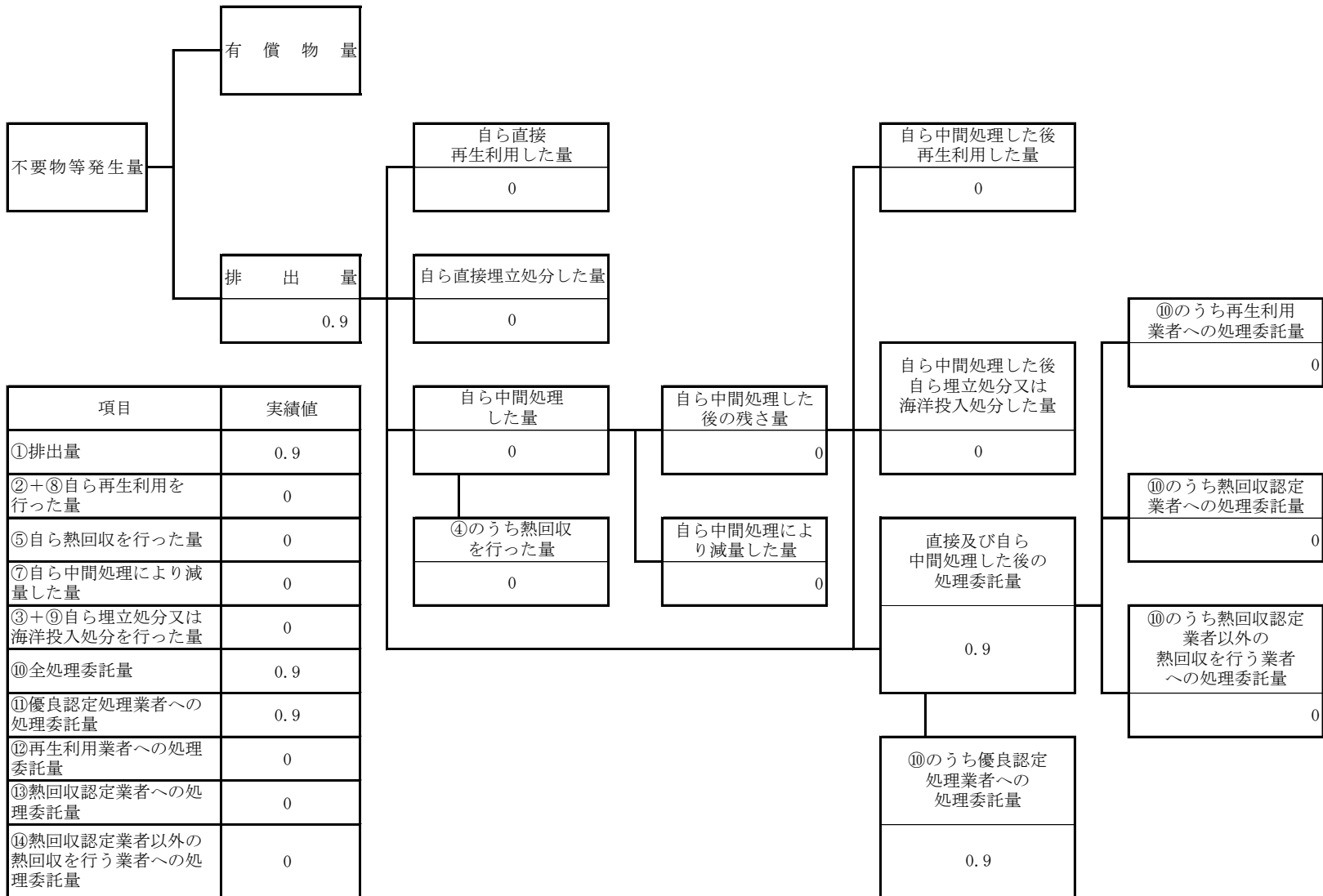
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：特定有害燃え殻)



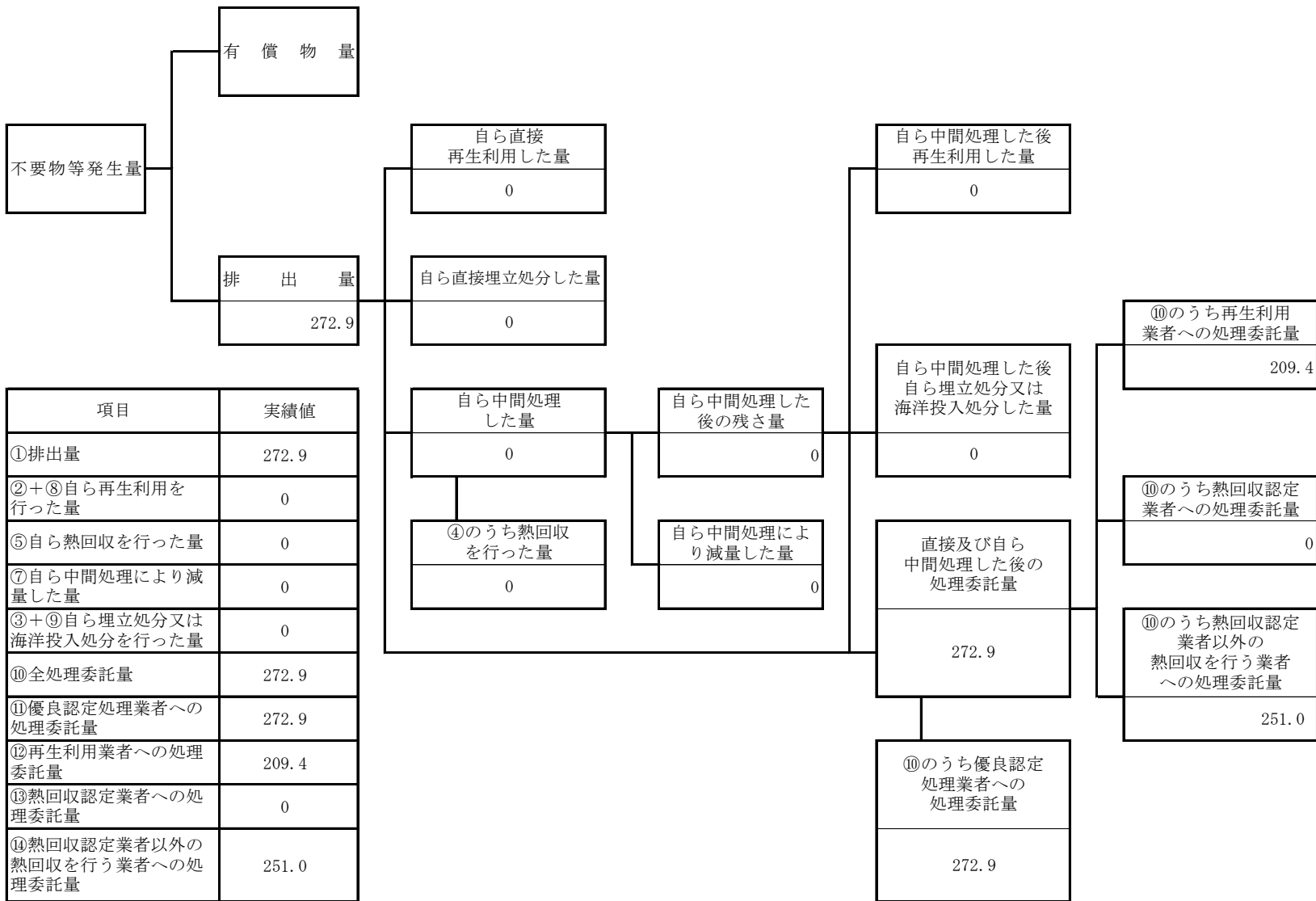
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：特定有害廃石綿)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：PCB汚染物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。